
5097. 自動車通関証明書交付申請

業務コード	業務名
MTC	自動車通関証明書交付申請

1. 業務概要

「自動車通関証明書交付申請事項登録（MTA）」業務後、自動車通関証明書交付申請（救援品等手数料免除申請を含む）を行う。

また、本業務にて、申請条件「K」（開庁時申請）を登録した場合、最初に到来する予め定められた時刻（ただし、当該時刻の属する日が「行政機関の休日に関する法律」に規定する行政機関の休日に当たるときは、これらの日の翌日の予め定められた時刻）以降に自動車通関証明書交付申請を自動起動する（以下、開庁時申請）旨を登録する。

なお、開庁時申請の前に訂正が行われた場合は、改めて本業務による開庁時申請の登録が行われない限り、開庁時申請は処理されないこととなる。

本業務は以下の時間帯にて実施可能である。

申請条件	実施可能時間帯	特記事項
なし	税関開庁時間内	本業務が税関の開庁時間外にわたる場合は、業務を行った時刻に係る時間外執務要請届がされている必要がある。
K（開庁時申請）	税関開庁時間外	

2. 入力者

通関業者、輸出入者

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②利用者が自動車通関証明書発行DBに登録されている事項登録者と同一であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

なし。

(3) 自動車通関証明書発行DBチェック

- ①入力された証明書申請番号が自動車通関証明書発行DBに存在すること。
- ②MTA業務が実施されていること。
- ③MTC業務（開庁時申請前を除く）が実施されていないこと。
- ④「自動車通関証明書交付申請呼出し（MTB）」業務による自動車通関証明書情報呼出し処理中ではないこと。
- ⑤「自動車通関証明書交付情報登録（MTF）」業務によって登録された情報でないこと。
- ⑥「自動車通関証明書交付後備考訂正（MTG）」業務によって登録された情報でないこと。
- ⑦申請条件「K」（開庁時申請）の場合、開庁時申請の旨の登録がされていないこと。

(4) 時間外執務要請届DBチェック

申請条件「なし」が税関開庁時間外に行われた場合は、以下のチェックを行う。

- ①当該申請者分の時間外執務要請届DB（届出種別「G：収納」）が存在すること。
- ②本業務が行われた時刻が時間外執務要請届の届出時間帯であること。

(5) 税関開庁時間チェック

申請条件「K」（開庁時申請）の場合は、本業務実施時間が税関の開庁時間外であること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 自動車通関証明書発行DB処理

自動車通関証明書発行DBに申請された旨を登録する。

(3) 時刻起動電文DB処理

①申請条件「K」（開庁時申請）後に、申請条件「なし」で本業務が行われた場合は、登録済みの時刻起動電文DBを削除する。

②申請条件「K」（開庁時申請）の場合は、開庁時申請を行う旨を時刻起動電文DBに登録する。

(4) 時間外執務要請届使用実績（収納）DB処理

申請条件「なし」で税関の開庁時間外に本業務が行われた場合、時間外執務要請届を使用した旨を時間外執務要請届使用実績（収納）DBに登録する。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
自動車通関証明書 交付申請控情報	なし 申請条件「なし」の場合	入力者
自動車通関証明書 交付申請情報	なし 申請条件「なし」の場合	申請税関官署（収納部門）

7. 特記事項

なし。